

# 埼玉県屋内50m水泳場整備事業基本計画（概要版）

## 1 設置目的

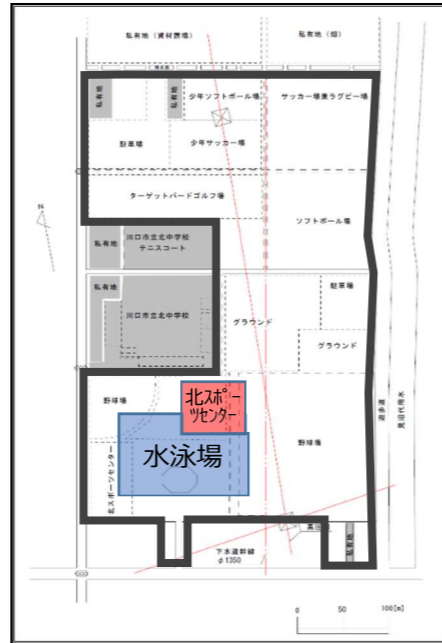
- (1) 日本水泳連盟公認の県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、アスリートの競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。
- (2) 1年を通して天候に左右されず誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進・スポーツ実施率の向上を図る。

## 2 導入機能

- (1) 国内主要大会の開催
- (2) 競技力の向上
- (3) 県民が水と親しむ環境の創出

## 3 整備場所

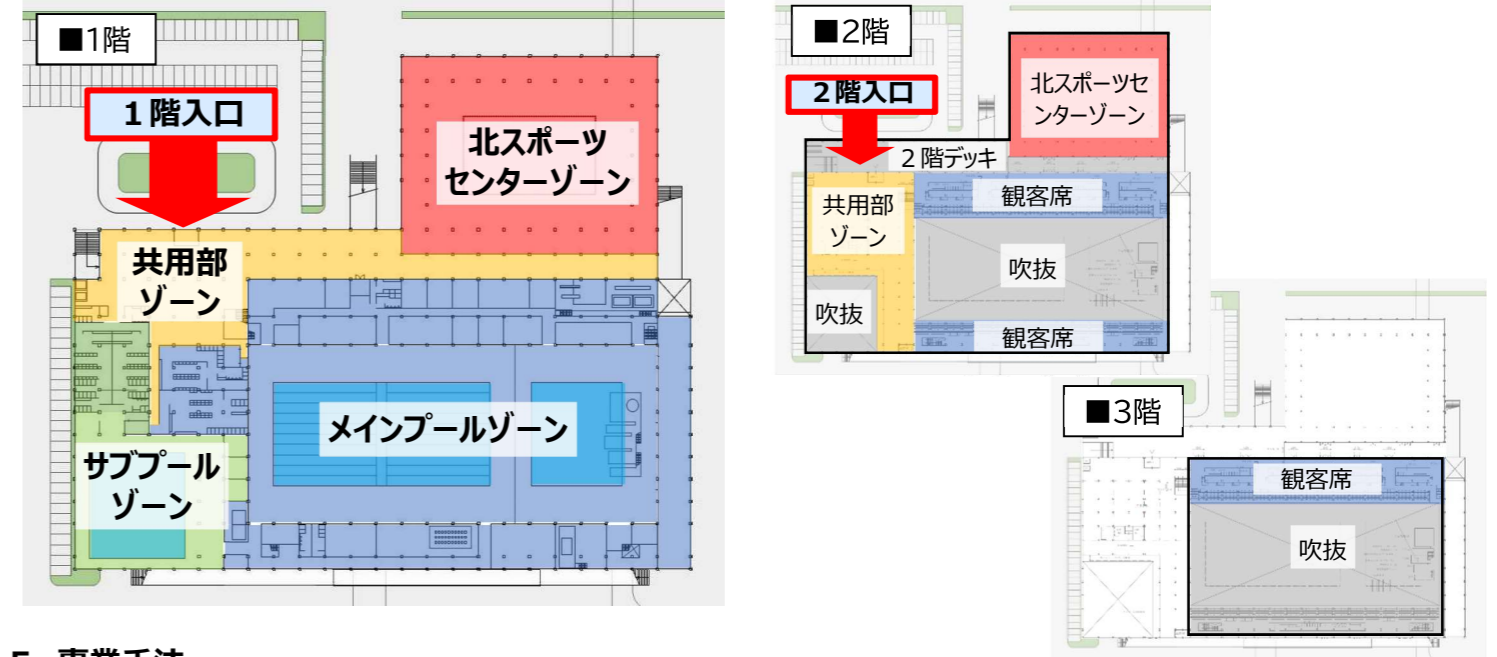
川口市神根運動場及び神根公園内に整備する。



## 4 整備施設

| 項目      | 整備施設                    |
|---------|-------------------------|
| メインプール  | 50m×10レーン×水深3m、可動床・可動壁  |
| 飛込プール   | 25m×22m×水深5m、可動床        |
| 観客席     | 3,000席                  |
| サブプール   | 25m×10レーン×水深2m、可動床      |
| 大会諸室    | 役員控室、審判室、選手控室、ドーピング検査室等 |
| 競技力向上施設 | 泳法解析装置                  |

## ○配置計画イメージ図



## 5 事業手法

### (1) 施設整備の方針

川口市が整備を予定している北スポーツセンター（公民館を含む）と合築整備とし、整備費・運営費の効率化を図る。

※土地は川口市より無償貸与を受けるが、合築における整備分担や費用負担は今後の市との協議で決定

### (2) 事業手法の検討結果

民間活力導入可能性調査の結果をまとめると以下のとおりである。

- ・全国的にPFI方式でスポーツ施設の整備を行っている事例が増えている。
- ・民間サウンディング調査では、設計から運営まで一体実施によるコスト削減が可能との意見が多数であった。
- ・VFMとしては、従来手法での整備と比較し、約10%の県負担額の削減を見込む。

**これらの結果を踏まえ、事業手法はPFI方式とし、運営期間は15年とする。**

※川口市北スポーツセンター（公民館含む）のPFI事業の範囲については、今後の市との協議で決定

## 6 事業費（現時点の建設単価等に基づく試算）

### (1) 整備費

約130億円

### (2) 運営費

支出額：約4.4億円/年

収入額：約1.2億円/年

※今後の検討状況や建設単価等の変動によって変更が生じる場合がある。

## 7 スケジュール

